

えている。来春には（仮称）DXセンターが完成予定である。新たな需要も見込まれることから、全国の先進事例を参考にしつつ、関係者を交え、新たな商店街の在り方について検討していく。

（産業政策課）

化で約1億3700万円、保育園副食費の無償化で約4500万円になると見込まれる。財源の確保については、各事業のスリム化を図り、制度設計の内容に応じて、必要な財源確保に努めていきたい。

（市長）

### 市民派連合

質問者

永田 公由  
丸山寿子・古畑秀夫  
篠原敏宏



持ち時間115分

## 市長の市政運営の基本姿勢について

◆市長マニフェストの実現に向けた財源確保は

問 0歳から2歳児の保育料無償化及び給食費の負担軽減制度の創設を実施した場合の、影響額と財源確保についてはどのように考えているか。

答 影響額は保育料無償

◆令和5年度予算編成方針と重点施策は

問 重点施策は何か。

答 給食費等の物価高騰分の公費負担、保育園における紙おむつ処分、保育園、児童館の整備、生活に密着した道路等の維持、公園施策の長寿命化地縁コミュニティの活性化、製造業・ICT関連産業の振興等である。

（企画課）

◆子どもへの感染拡大防止対策は

問 市内小中学校・保育園における感染状況と感染防止対策は。

答 小中学校では、11月21日から30日までの10日間で、児童生徒128人、教職員17人、保育園では園児33人、職員11人の感染が確認されている。防止対策は感染リスクが高い行事等は、分散または縮小して実施している。日常的には手洗いや換気、給食時の対面での食事を控え、施設内の消毒などを行っている。

（教育総務課）

◆林業政策について

問 旧信州農業公園チロルの森の後利用についてワールドインテック社との協議の進捗状況は。

答 アウトドア関連の企業が現地を2回にわたり



旧信州農業公園チロルの森

視察しており、相手方企業の検討結果を待つ状態となっている。

（農林課）

問 松くい虫による被害の現状と対策は。

答 被害箇所は341箇所、被害木は583本で

東山山麓、洗馬地区を中心に、被害が拡大している。枯損木は年度内に処理をするとともに、カミキリ虫が羽化する来年6月中旬までに枯損木の全木駆除を目指していきたい。

（農林課）

◆塩尻産ワインの消費拡大について

問 市内ワイナリーの販路開拓への支援策は。

答 塩尻産ワインを海外コンクールに出品する際に、上限10万円を助成している。また、地場産業振興センター内で、新たに市内15ワイナリーのワインを取り扱いワインの売り上げが30%増加して

いる。

（産業政策課）

◆市民交流センター内の店舗撤退と今後の対応は

問 2店舗撤退後の後継テナントの見通しは。

答 一区画については契約の目的が立ったと聞いている。

（都市計画課）

### 日本共産党

質問者

小澤 彰一  
柴田 博



持ち時間90分

## 子育て世帯への手厚い支援を！

◆給食費無償化について

問 異常な物価高によって、市民、特に子育て世帯の生活が困窮している。市の小・中学校の学校徴収金は県内でも高い水準にあるが、せめて給食費の無償化はできないか。

答 学校給食法の規定に